



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 50 号  
2008.3.1  
高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## もくじ

### おしらせ

- ー 冬季閉館について
- ー 八幡湿原自然再生工事が進行
- ー 『苅尾 第 16 号』の原稿を募集

### 活動報告

- ー スノートレッキング

### 観察会案内

- ー スノートレッキング

### 今後の観察会予定

- 2008 年
- 4 月 5 日 千町原の野焼き
  - 12 日 雲月山の山焼き
  - 20 日 千町原と霧ヶ谷湿原の観察会
  - 29 日 両生類の産卵調査
  - 5 月 10 日 牛が首山の植物観察会
  - 24 日 臥竜山の野鳥観察会
  - 6 月 7 日 阿佐山の植物観察会
  - 14 日 熊城山の植物観察会
  - 15 日 龍頭山の野鳥観察会
  - 29 日 霧ヶ谷実験地の植生調査
  - 7 月 未定 湿原の昆虫と植物
  - 未定 こども観察会 - 自然で遊ぼう -
  - 8 月 3 日 可愛川の水生生物観察会
  - 龍頭山の昆虫観察会
  - 10 日 カワシンジュガイの観察会
  - 24 日 雲月山の植物観察会
  - 9 月 20 日 霧ヶ谷実験地の植生調査

## おしらせ

### ● 冬季閉館について

冬季閉館中の連絡先は、次のとおりとなります。  
観察会の申込み等にご利用ください。

メール：staff@shizenkan.info（これまでどおり）  
電話：0826-72-0864  
（北広島町教育委員会 生涯学習課）  
ファックス：0826-35-0386（代）

### ● 八幡湿原自然再生工事が進行しています

環境省が補助し、広島県が行う「八幡湿原自然再生事業」の工事が二川キャンプ場の近く、霧ヶ谷で進んでいます。雪は降っていますが、導水路を設置した場所には水が流れているようです。

### ● 『苅尾 第 16 号』の原稿を募集

西中国山地自然史研究会の『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600 字程度にまとめてください。写真を大歓迎します。あなたの見つけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

- 10 月 13 日 サツキマスの観察会
- 11 月 8 日 ゴギの産卵観察会・紅葉と冬芽の観察会
- 未定 千町原の草刈り
- 12 月 6 日 巣箱・かんじき作り
- 7 日 野鳥の観察
- 2009 年
- 1 月 18 日 冬を生きる動物たちの生態
- 2 月 21 日 雪原のトレッキング
- 3 月 8 日 雪原のトレッキング

## 観 察 会 報 告

### ● スノートレッキング

開催日時：2008年2月17日（日）10:00

ビュービューと風が吹き、大きな綿雪が舞っていました。普通に考えるととてもトレッキング日和とは言えない天気でしたが、参加者の皆さんは全く気にしていない様子です。自然館で全体の行程を確認した後、かんじき、スノーシュー、スキーなど、各々の装備を身につけて出発しました。

水分が多い雪がたくさん降っていたので、動物の足跡はほとんど見られませんが、東屋の柱にはたくさんのテンの足跡が見られましたし、ノウサギが食べたノイバラも見られました。扇谷の上ではウソが8羽で群を作って、鳴きながら飛んで行きました。水口谷ではルリビタキがすぐ近くまで寄ってきて、しっかりと姿を見せてくれました。水口谷から水が埜を超えて、霧ヶ谷に進んでいきました。雪の無い季節には藪になっているところも、雪が積もっているので楽に歩いていけます。地下水観測地点の目印に立てられているポールを見ると、雪の深さは120cmほどあることが分かりました。カンボクの枝にはメジロの巣が掛けられており、近くでじっくりと見る事ができました。最近では、巣材にビニールテープなどが使われることもあるようですが、この巣はクモの糸などの天然素材で作られていました。小鳥の巣ひとつをとってみても、周りの環境がよく分かるんですね。ゆるやかに弧を描く導水路は、湿原の再生を予感させてくれました。春の観察を楽しみしながら、霧ヶ谷を後にして、お昼過ぎには自然館にもどりました。[し]



集合したときには、大きな雪がどんどん降っていた。意を決して出発！



東屋の柱には、テンが登った爪痕があった。



メジロの巣を発見。ハンモックのようにぶら下がっていた。



湿原再生のために掘られた補助導水路が、緩やかな弧を描く。



溝に注意しながら歩く。



2m ポールの上部 60cm だけが見えた。積雪は 120cm くらいだろうか。

## 【スノートレッキング俳句】

スノートレッキング恒例の俳句です。

雪山を歩き探す春の音

大雪の千町原にウソ 8 羽

山野草雪の下で春を待つ

カンジキをはいて楽しい風吹やま

雪の中鳥の声聞きトレッキング

わた雪にやわらかな筋導水路

チッチチ春のおとずれ知らせたね

メジロの巣ゆらゆらゆれてハンモック

冬山はあたたかくってつめたくて

大雪は八幡の自然の物語

## 【みなさんの印象に残った物】

「積雪 120cm は自然の八幡で安心しました。」  
「動物、木、等々の自然さです。」  
「メジロの巣。」  
「寒い中でも木の芽や鳥たちが動いていて春が近づいているのが確かに感じられた。」  
「冬の厳しい中で生き物が一生懸命生きている。」  
「雪山ならではの所を、カンジキをつけて歩いたこと。」  
「前回と同様にかんじきを足につけ、思ったより歩きやすい。生まれて初めての体験でした。大朝の雪と芸北の雪の量の違い。」  
「ウソ 8 羽。」  
「雪の深さ。」

## 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「日本の冬に来た思い。」  
「みんな生きている。」  
「たくさん雪がつもって楽しかったです。」  
「説明もわかりやすく、良かった。」  
「雪の中で雪と一体になると気持ちイ〜。」  
「私も楽しかったけど、まわりの風景も喜んでいただけに思います。」  
「66 才のバーさん、いい運動でした。」  
「雪の中でも鳥はたくましく生活している。」  
「初めてのカンジキの便利さ。」  
「雪が多くて楽しかった。」



## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● スノートレッキング

開催日時：2008年3月9日（日）10:00  
集合場所：高原の自然館  
準備：基本セット、弁当、スノーシュー・歩くスキーなど（かんじきの貸し出しがあります）  
定員数：30名  
参加費：300円（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

雪の草原を歩きましょう。寒い中、みんなであるくとたくさん発見があるかもしれません。あたたかい飲物などを持参し、ご参加下さい。



近ごろ「あ、春だな」と感じる事が多くなりました。雪があり、花も咲いていません。気温は毎朝氷点下になり、出勤の前には雪や霜を落とさなければなりません。それでも寒い日の合間には青空が見えるようになり、木に付いた雪はすっかり落ちてしまいます。何よりもアスファルトが見えていることが春を感じさせるようです。季節の変わり目は、名残惜しいような、楽しみなような、複雑な気持ちになります。

### ー インターネット版苜尾電波塔の紹介と購読移行のお願いー

苜尾電波塔はインターネットを利用したe-mailでも発行されています。印刷版と同じ情報が毎月あなたのメールアドレスに届きます。さらにe-mailなら、関連ホームページを見たり、そのまま返事をする事で観察会の申し込みができた、とっても便利です。パソコンでe-mailをお使いの方ならご自宅でも無料で申し込みができます。まずは高原の自然館ホームページをご覧ください。

高原の自然館ホームページからは、苜尾電波塔（紙版）のpdfファイルをそのままダウンロードできます。郵送している紙版に比べ、鮮やかなカラー写真を見ることができ、ダウンロードしたファイルはご家庭のプリンタを使って印刷することもできます。そこで、高原の自然館では紙版（郵送）からインターネット版への購読移行をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

【高原の自然館】<http://shizenkan.info/>

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)